

答弁書第百二十八号

内閣参甲第一三四号

昭和二十三年六月二十二日

内閣総理大臣 芦田 均

参議院議長 松平 恒雄 殿

参議院議員大山安君提出常磐線松戸我孫子電化に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

昭和廿參年七月八日

參議院議員大山安君提出常磐線松戸我孫子間電化に関する質問に対する答弁書

松戸我孫子間は本年度電化工事を着手する予定の松戸取手間電車運轉の一部に含まれているも未だ着工に至らないのは同区間運轉用車輛捻出について決定に至るまで關係方面と交渉を続けているためであつてその決定を待つて着手したいと考えている。

松戸我孫子間は松戸取手間電車化の一區間として昭和二十三年度施行について承認を得予算の計上は新物價による要求を本年六月二日關係方面に提出して交渉を続けている。

松戸我孫子間の電化設備予算額は八四、五〇〇、〇〇〇円と内定している。